

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなの学びは地域の元気へ
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 ふるさと交流木曾 (0264-27-1011)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	524,572円(うち支援金:365,000円)

事業内容

地域交流の場を作るため、地域住民に見て・体験してもらう上映会の開催と体験を4回開催

第1回「船山にのぼる」上映 7月6日 7名

第2回地域の農業の写真撮影3回 スライドで紹介

料理教室の開催 8月17日 55名

第3回「カレーライスを一から作る」上映9月8日8名

第4回木のアニメーション上映・木のおもちゃの体験

12月8日 15名



【第2回 地域の農業スライド紹介】

事業効果

- ① 地域住民の交流の場が映画上映会の開催を行うことによりができた。参加者が少なかったが、より深い交流ができた。
特に第2回の料理講習会では、親子参加と地域の人と交流できた場となった。
- ② 上映会という、新たな企画としての地域への発信ができ、これから色々と企画をし活動の幅が広がることのできるきっかけ作りとなった。
- ③ 料理講習会を通じて参加者が地域の農産物、生産者に興味を持ってくれた
特に子供たちは、地域の食材が美味しいという発見し、学び感じ取り、地域の良さを知ることができた。
木のアニメーション、体験では、参加者自身が木の魅力を知ることができた。

【目標・ねらい】

- ① 地域住民の交流の場
- ② 新たな活動の幅の広がり
- ③ 体験することにより参加者の発見、感動を与える

※自己評価【 C 】

【理由】

- ・上映会に来てもらう人が目標より少なかった。
- ・初めての取り組みだった為、上映会が地域の人たちに馴染みがなく魅力ある企画としてできなかった。

今後の取り組み

地域交流の場としての上映会を初めて行ったが、参加者が少なかった。地域の人に馴染みがまだなかったためだと感じる。今後も上映会、それに伴った企画を続け人が集まり交流していく場として発信していきたい。

地域の農業の料理教室と写真の紹介では、特に盛況だった。今後も元気づくりを通じて第2弾を行いたいと考えている。地域の食材、地域の人と交流が美味しさを知っていくことが今後の地域の農業のありかたを考えていく一つになっていくと思う。

木のおもちゃ体験の参加者は、参加者とのつながりを続けたいと要望がありこれから木育の講座を開くなどして続けていく。

今回の取組を通じて、地域交流の場として少しではあるが、広がっていき、色々な人をつなげる一つのきっかけ作りになったと思う。これからは、引き続き上映会、企画を続け、地域交流の場として取り組んでいきたい。